

平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○東京大学、東京工業大学	主たる交流先	トルコ
事 業 名	エネルギーシステムと都市のレジリエンス工学日土協働教育プログラム		

〔評価コメント〕

本事業計画は、トルコにおける急速な経済成長に伴う都市の発展・拡大、エネルギー需要増による原子力発電を含めた電力インフラの整備に対するニーズの高まり、また、日本とトルコが共通した地震多発地帯という類似性の中で、エネルギーシステムや都市を持続可能な形で運用していかなければならないという背景のもと、日本・トルコのトップ大学が協力して、国際競争力の高い共同研究を行う研究教育拠点を形成するとともに、リーダー人材を含む幅広い人材育成を行うことを目的としたものである。将来の日本・トルコ関係の深化に向けて、これまでの実績に加え、東京大学では大学院工学研究科の全専攻群が参画したレジリエンス工学の総合的な教育プログラムの開発・共有・提供を行い、東京工業大学においてはレジリエントな地震工学の研究教育拠点として国際的に展開しようとする意欲的な取組である。その展開に当たっても、両大学の培ってきた強みを活かした体制で実施する計画となっており、高く評価できる。

日本での受入学生に対するインターンシップを含めた枠組み・体制がよく整備されており、準備が進んでいるとともに、トルコにおいても、日本・トルコ両政府の合意によって今後設立される新大学につながる構想として継続性が認められる。また、学生の支援体制についても、両大学ともこれまで多くの留学生が在籍し、海外有力大学とパートナーシップを構築してきたという実績があり、学生の派遣・受入ともに交流の拡大が期待される。

一方で、カリキュラムの面では、トルコの大学での受入プログラムの教育内容や学習計画などの詳細な設計を十分に進め、日本人学生にとってのメリットやインセンティブを明確にすることが求められる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本とトルコとの関係を見据え、トルコとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。